

い草・畳の機能

1
空気の
浄化作用

2
保温・
断熱効果

3
吸・放湿
作用

4
吸音・
防音効果

5
弾力性

6
鎮静効果

いぐさの断面

熊本県いぐさ田風景



① 空気の浄化作用

アセトアルデヒドの吸着に優れた効果を発揮しています。ホルムアルデヒドは性質が似ており、それについても同じ効果があると考えられています。いぐさボードやいぐさ和紙の二酸化窒素除去能力が高く、シックハウスの原因とされる化学物質を吸着します。

④ 吸音・防音効果

上の階の「ドン」という音にびっくりした経験のある方は多いと思います。タイヤを使った実験では、床表面に柔らかい素材を使うほど、衝撃音が吸収されることがわかっています。つまり、床に畳を敷くことで音が軽減されるのです。

② 保温・断熱効果

空気は、熱を伝えにくいという特徴があります。いぐさの断面はスポンジのようになっており、その中に空気がたくさん含まれています。まるで、羽毛布団みたいに適度な温度を保ちます。

⑤ 弾力性

畳は弾力性に優れ、発育期の子供のバランス感覚を養うのに効果的だと言われています。また、適度な弾力性のお陰で、転んだ時も板張りより衝撃が少ないです。赤ん坊の時から、自然素材、安心・安全の国産畳で育ててあげてください。

③ 吸・放湿作用

畳は湿気を吸ったり放出したりして、室内の湿度を調整してくれます。いぐさ畳表+藁床の6畳間では約3リットルの吸湿能力があります。除湿機と違うのは乾燥してきたら水分を放出することです。畳表など自然素材の畳により、いつも快適な生活を送りたいものです。

⑥ 鎮静効果

畳表の匂いは、いぐさが本来持っている「干し草の香り」に泥染めの時に使う「染土」がブレンドされたものです。この香り、「快い」と「自然な」の中間に当たり、嗅覚的にも優しいと言われています。